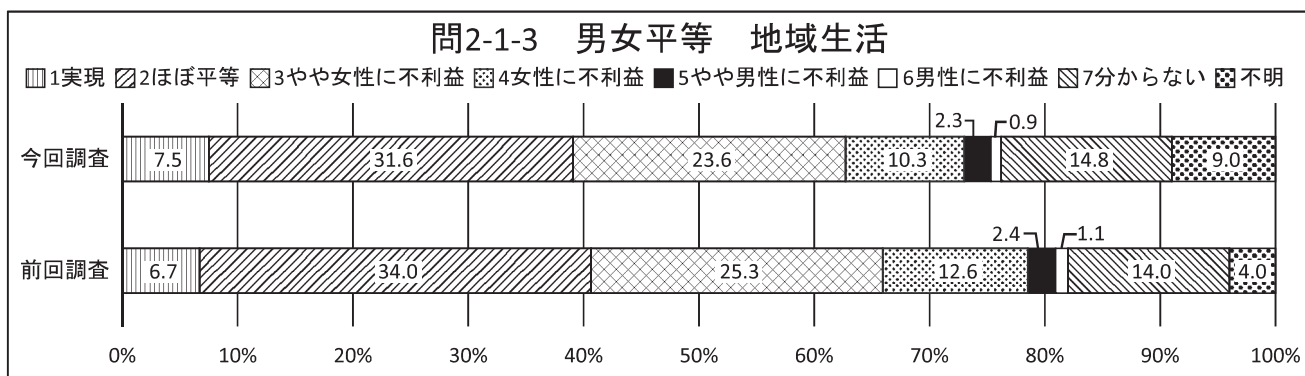


(3) 男女平等 地域生活では

No.	問2-1-3男女平等地域生活では カテゴリ	(SA) 件数	(全体)%	前回調査	(除不)%
1	実現	149	7.5	6.7	8.2
2	ほぼ平等	630	31.6	34.0	34.7
3	やや女性に不利益	472	23.6	25.3	26.0
4	女性に不利益	206	10.3	12.6	11.3
5	やや男性に不利益	45	2.3	2.4	2.5
6	男性に不利益	18	0.9	1.1	1.0
7	分からない	296	14.8	14.0	16.3
	不明	180	9.0	4.0	
	N(%へース)	1996	100	1711	1816



地域の中では、男女平等が実現していると思う7.5%(前回6.7%)、ほぼ男女平等だと思う31.6%(34.0%)、やや女性に不利益だと思う23.6%(25.3%)、女性に不利益だと思う10.3%(12.6%)、やや男性に不利益だと思う2.3%(2.4%)、男性に不利益だと思う0.9%(1.1%)、わからない14.8%(14.0%)、不明(無記入)9.0%(4.0%)となっています。前回とあまり変化はありません。なお、全国調査ではこの質問がありません。

実現・ほぼ平等が多い順に家の中・地域生活・職場となっています。

問2 男女平等				
No.	カテゴリ	家庭の中では	職場では	地域生活では
1	実現	16.0	7.1	7.5
2	ほぼ平等	31.1	22.5	31.6
3	やや女性に不利益	24.0	27.4	23.6
4	女性に不利益	14.9	15.5	10.3
5	やや男性に不利益	1.5	2.1	2.3
6	男性に不利益	0.9	0.9	0.9
7	分からない	5.0	10.1	14.8
	不明	6.6	14.3	9.0
	N(%へース)	100	100	100

性別・職業別・広報紙の記事を読んだかに関連があります。職業別・性別・広報紙の記事を読んだかと強い関連があります。

問2-1-3男女平等地域生活では×F3職業									
上段:度数		問2-1-3男女平等地域生活							
下段:%		合計	1平等	2ほぼ平等	3やや女性に 不利益	4女性に 不利益	5やや男性に 不利益	6男性に 不利益	7分らない
F3職業	全体	1788	143	621	470	199	45	18	292
		100.0	8.0	34.7	26.3	11.1	2.5	1.0	16.3
	1.自営業	213	30	73	58	18	9	5	20
		100.0	14.1	34.3	27.2	8.5	4.2	2.3	9.4
	2.企業・ 正社員	443	37	150	106	51	11	6	82
		100.0	8.4	33.9	23.9	11.5	2.5	1.4	18.5
	3.契約・派 遣社員	55	4	20	14	7	1	-	9
		100.0	7.3	36.4	25.5	12.7	1.8	-	16.4
	4.公務員	66	5	25	17	12	4	2	1
		100.0	7.6	37.9	25.8	18.2	6.1	3.0	1.5
	5.教職員	38	3	8	15	9	-	-	3
		100.0	7.9	21.1	39.5	23.7	-	-	7.9
	6.臨時・パート・ アルバイト	262	13	89	75	31	8	3	43
		100.0	5.0	34.0	28.6	11.8	3.1	1.1	16.4
7.家事専 業	333	17	118	91	41	4	-	62	
	100.0	5.1	35.4	27.3	12.3	1.2	-	18.6	
8.無職	252	23	91	57	22	7	2	50	
	100.0	9.1	36.1	22.6	8.7	2.8	0.8	19.8	
9.学生	26	-	7	8	1	1	-	9	
	100.0	-	26.9	30.8	3.8	3.8	-	34.6	
10.その 他	100	11	40	29	7	-	-	13	
	100.0	11.0	40.0	29.0	7.0	-	-	13.0	

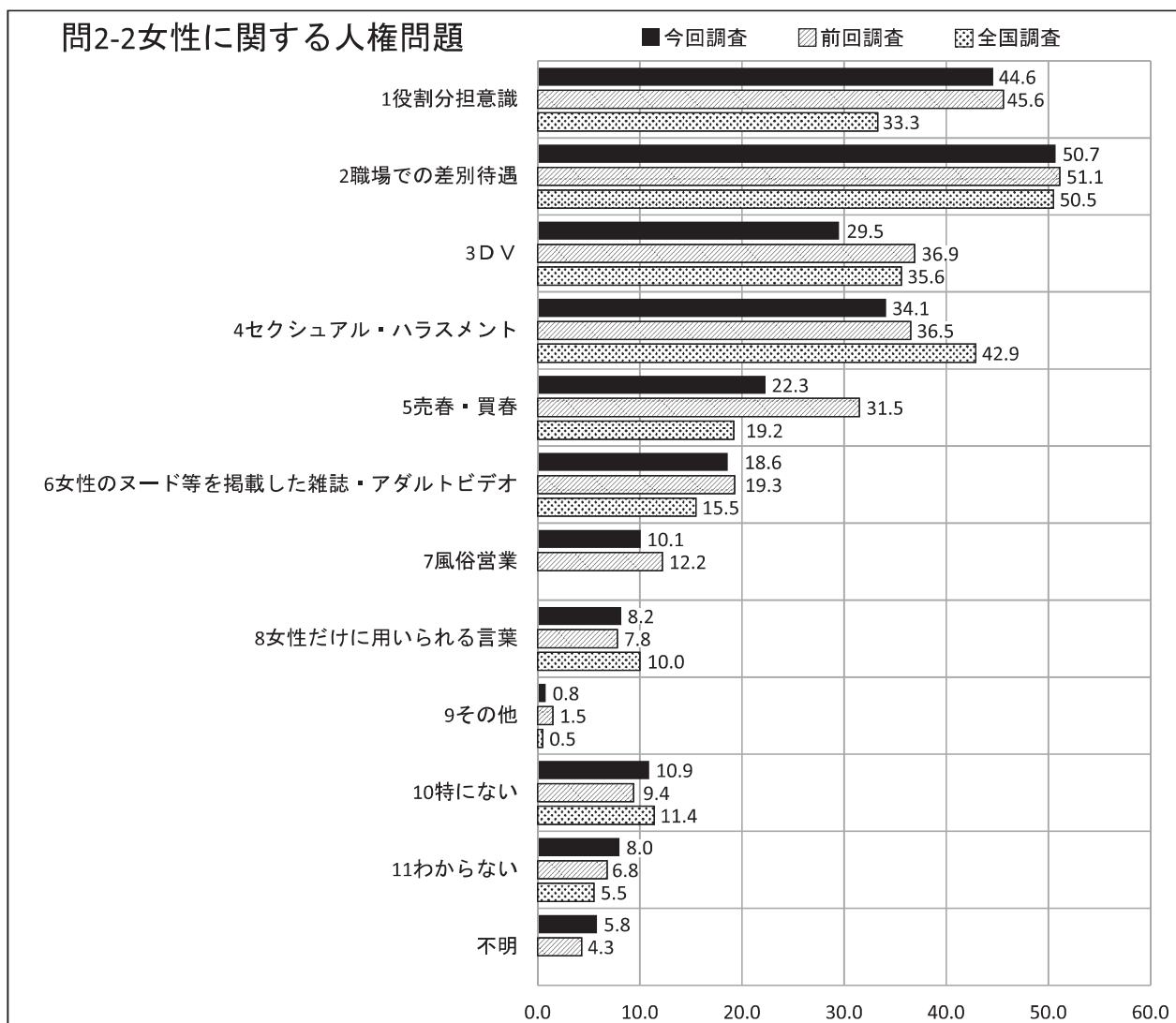
自営業で男性に不利益、平等実現が多く、教職員で女性に不利益が多くなっています。臨時・パート・アルバイトで平等実現が少なく、家事専業で平等が実現・男性に不利益が少なくなっています。学生でわからないが多くなっています。

問2-1-3男女平等地域生活では×F1性別									
上段:度数		問2-1-3男女平等地域生活							
下段:%		合計	1平等	2ほぼ平等	3やや女性に 不利益	4女性に 不利益	5やや男性に 不利益	6男性に 不利益	7分らない
F1性別	全体	1771	140	615	464	198	45	18	291
		100.0	7.9	34.7	26.2	11.2	2.5	1.0	16.4
	男性	785	82	313	190	56	30	15	99
		100.0	10.4	39.9	24.2	7.1	3.8	1.9	12.6
	女性	986	58	302	274	142	15	3	192
		100.0	5.9	30.6	27.8	14.4	1.5	0.3	19.5

男性でほぼ平等が実現、平等が実現、男性に不利益、やや男性に不利益が多く、女性で女性に不利益・わからないが多くなっています。

(4) 女性の人権問題

No.	問2-2女性に関する人権問題 カテゴリ	(MA)	(全体)%	前回調査	(除不)%	全国調査
		件数				
1	役割分担意識	891	44.6	45.6	47.4	33.3
2	職場での差別待遇	1012	50.7	51.1	53.8	50.5
3	DV	589	29.5	36.9	31.3	35.6
4	セクシュアル・ハラスメント	680	34.1	36.5	36.2	42.9
5	売春・買春	445	22.3	31.5	23.7	19.2
6	女性のヌード等を掲載した雑誌・アダルトビデオ	371	18.6	19.3	19.7	15.5
7	風俗営業	202	10.1	12.2	10.7	
8	女性だけに用いられる言葉	164	8.2	7.8	8.7	10.0
9	その他	16	0.8	1.5	0.9	0.5
10	特になし	218	10.9	9.4	11.6	11.4
11	わからない	159	8.0	6.8	8.5	5.5
	不明	116	5.8	4.3		
	N(%ベース)	1996	100	1711	1880	1758



女性に関することで、現在どのような人権問題があると思われるか、次の中からいくつでも選んでください。という質問について、職場における差別待遇(採用、昇任、賃金などの男女差、マタニティ・ハラスメントなどの妊娠・出産等を理由とする不利益取扱等)50.7%(前回51.1%)、男女の固定的な役割分担意識に基づく差別的取り扱い44.6%(45.6%)、ドメスティック・バイオレンス29.5%(36.9%)、セクシュアル・ハラスメント34.1%(36.5%)、強姦、強制わいせつ等の性犯罪や売春・買春(「援助交際」を含む)22.3%(31.5%)、女性のヌード写真等を掲載した雑誌、新聞やアダルト・ビデオ、ポルノ雑誌等、女性を性の対象ととらえた風潮18.6%(19.3%)、女性の働く風俗営業10.1%(12.2%)、「令夫人」・「婦人」・「未亡人」・「家内」のような女性だけに用いられる言葉8.2%(7.8%)、その他0.8%(1.5%)、特にない10.9%(9.4%)、わからない8.0%(6.8%)、不明5.8%(4.3%)となっています。

前回と比べ大きな変化はありませんが、ドメスティック・バイオレンスと性犯罪・売買春が少なくなっています。全国調査(内閣府「人権擁護に関する世論調査」平成28年)と比べ、男女の固定的な役割分担意識に基づく差別的取り扱い47.4%(全国33.3%)が全国より多く、ドメスティック・バイオレンス31.3%(全国35.6%)、セクシュアル・ハラスメント36.2%(42.9%)が少なくなっています。

問2-2女性に関する人権問題×F1性別×F2年齢×F3職業													
%		問2-2女性に関する人権問題											
		合計	1男女の 固定的 役割分 担意識	2職場 での 差別 待遇	3DV	4セクシ ュアル・ ハラシ メント	5性犯 罪や 売春・ 買春	6女性のヌ ード等を掲 載した雑誌 ・アダルトビ デオ	7風 俗営 業	8女性だ けに用 いられ る言葉	9そ の 他	10特 にな い	11わ から ない
F1 性別	全体	1880	47.4	53.8	31.3	36.2	23.7	19.7	10.7	8.7	0.9	11.6	8.5
	男性	808	45.8	52.8	29.8	39.1	22.8	17.7	9.9	5.9	0.4	11.1	8.7
	女性	1021	49.0	55.2	32.7	34.6	24.7	21.4	11.6	10.8	1.2	11.6	8.0
F2 年齢	全体	1880	47.4	53.8	31.3	36.2	23.7	19.7	10.7	8.7	0.9	11.6	8.5
	18～19	16	43.8	68.8	31.3	43.8	37.5	12.5	6.3	6.3	-	-	12.5
	20～29	105	57.1	62.9	30.5	40.0	22.9	21.0	11.4	7.6	1.0	5.7	7.6
	30～39	210	57.1	64.8	31.0	42.4	28.6	17.6	7.6	8.6	0.5	8.6	3.3
	40～49	263	55.9	58.9	35.4	46.8	28.5	17.5	9.5	6.8	1.5	5.3	5.3
	50～59	319	53.0	57.7	35.7	42.6	23.5	17.6	12.2	9.7	0.6	7.2	5.3
	60～69	386	45.1	58.5	41.2	38.3	24.6	23.3	11.7	8.8	0.8	8.8	7.0
	70～79	344	39.5	43.6	24.4	27.0	20.6	21.2	11.0	8.7	0.9	20.6	11.3
	80以上	208	31.3	33.7	15.4	16.8	15.4	18.3	10.1	9.1	0.5	23.1	20.7
F3 職業	全体	1880	47.4	53.8	31.3	36.2	23.7	19.7	10.7	8.7	0.9	11.6	8.5
	1.自営業	222	39.6	49.5	30.6	30.2	18.9	15.3	6.8	8.1	0.5	17.1	10.8
	2.企業・正社員	435	51.7	63.9	29.9	43.4	23.9	16.6	8.3	6.0	0.5	7.1	5.3
	3.契約・派遣社員	56	42.9	57.1	35.7	39.3	28.6	25.0	16.1	8.9	1.8	5.4	7.1
	4.公務員	68	58.8	39.7	32.4	50.0	27.9	20.6	10.3	7.4	1.5	4.4	-
	5.教職員	38	68.4	68.4	28.9	52.6	21.1	23.7	13.2	21.1	5.3	2.6	-
	6.臨時・パート・アルバイト	263	54.0	57.8	40.3	37.6	26.2	20.2	12.9	11.8	0.8	8.7	4.2
	7.家事専業	352	43.2	51.1	27.8	31.3	27.6	25.9	15.6	10.8	0.9	14.8	11.1
	8.無職	270	42.6	47.0	30.7	31.9	20.4	18.9	8.9	7.0	-	13.0	14.1
	9.学生	26	53.8	57.7	30.8	46.2	30.8	15.4	11.5	-	-	-	15.4
10.その他	116	46.6	46.6	29.3	27.6	16.4	19.8	9.5	9.5	1.7	21.6	9.5	

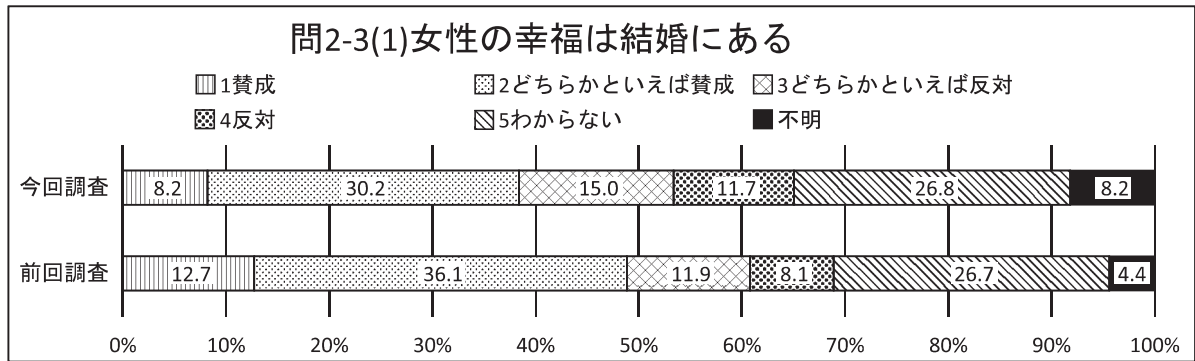
男性ではセクシュアル・ハラシメント、女性では「令夫人」「婦人」「未亡人」「家内」のような女性だけに用いられる言葉が多くなっています。

性別役割分担・職場での差別待遇については若い人ほど多くなっています。DVは60歳代で最も多く、セクシュアル・ハラシメントは40歳代で最も多くなっています。売買春は30歳代・40歳代で多くなっています。

性別役割分担は企業の正社員、公務員、教職員、臨時・パート・アルバイトで多く、家事専業、無職で少なくなっています。職場での差別待遇は企業の正社員、教職員で多く、公務員、無職で少なくなっています。セクシュアル・ハラシメントは企業の正社員、公務員、教職員で多く、家事専業、自営業で少なくなっています。風俗営業などは家事専業で多く、女性だけに用いられる言葉は教職員、臨時・パート・アルバイトで多くなっています。

(5) 女性と結婚

No.	問2-3(1)女性の幸福は結婚にある カテゴリ	(SA)		前回調査	(除不)%
		件数	(全体)%		
1	賛成	163	8.2	12.7	8.9
2	どちらかといえば賛成	602	30.2	36.1	32.8
3	どちらかといえば反対	300	15.0	11.9	16.4
4	反対	233	11.7	8.1	12.7
5	わからない	535	26.8	26.7	29.2
	不明	163	8.2	4.4	
	N(%ベース)	1996	100	1711	1833



結婚、家庭、出産、子育てについての考え方について、女性の幸福は結婚にあるでは、賛成8.2%(前回12.7%)、どちらかといえば賛成30.2%(36.1%)、どちらかといえば反対15.0%(11.9%)、反対11.7%(8.1%)、わからない26.8%(26.7%)、不明(無記入)8.2%(4.4%)となっています。

前回調査と比べ、賛成・どちらかといえば賛成が減って、どちらかといえば反対・反対が多くなっています。

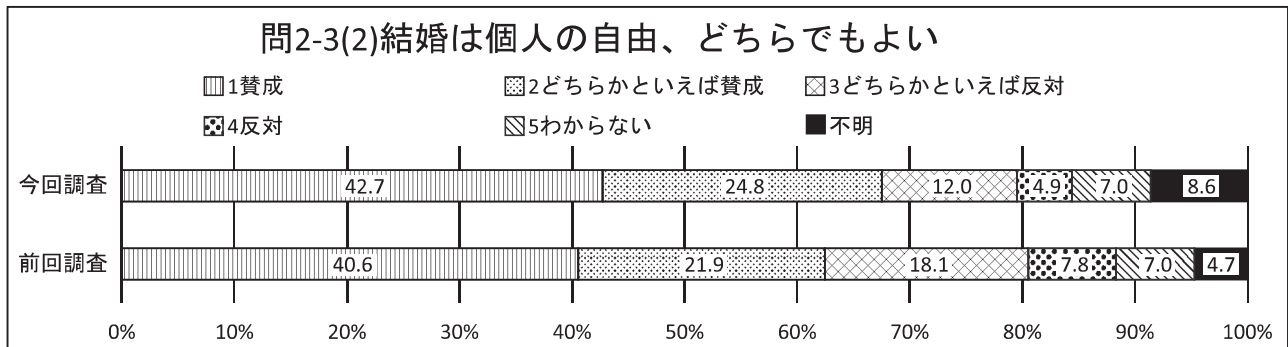
上段:度数		問2-3(1)女性の幸福は結婚にある					
下段:%		合計	1賛成	2どちらかといえば賛成	3どちらかといえば反対	4反対	5わからない
F2年齢	全体	1805	160	591	293	229	532
		100.0	8.9	32.7	16.2	12.7	29.5
	18～19	16	1	6	2	3	4
		100.0	6.3	37.5	12.5	18.8	25.0
	20～29	106	6	25	25	15	35
		100.0	5.7	23.6	23.6	14.2	33.0
	30～39	210	9	44	44	39	74
		100.0	4.3	21.0	21.0	18.6	35.2
	40～49	263	14	79	40	44	86
		100.0	5.3	30.0	15.2	16.7	32.7
50～59	324	10	89	61	57	107	
	100.0	3.1	27.5	18.8	17.6	33.0	
60～69	382	30	136	69	44	103	
	100.0	7.9	35.6	18.1	11.5	27.0	
70～79	335	53	140	32	20	90	
	100.0	15.8	41.8	9.6	6.0	26.9	
80以上	169	37	72	20	7	33	
	100.0	21.9	42.6	11.8	4.1	19.5	

性別・年齢別・職業別・高校で人権教育を受けたかに関連しています。年齢と強い関連があります。

20歳代でどちらかといえば反対が多く、どちらかといえば賛成が少なくなっています。30歳代では反対・どちらかといえば反対が多く、どちらかといえば賛成・賛成が少なくなっています。40歳代では反対が多く、賛成が少なくなっています。50歳代でも反対が多く、賛成・どちらかといえば賛成が少なくなっています。70歳代と80歳以上で賛成・どちらかといえば賛成が多く、反対が少なくなっています。年齢ごとに差異がかなりはっきり出ています。

(6)結婚するしないは個人の自由か？

No.	問2-3(2)結婚は個人の自由、どちらでもよい カテゴリ	(SA) 件数	(全体)%	前回調査	(除不)%
1	賛成	852	42.7	40.6	46.7
2	どちらかといえば賛成	495	24.8	21.9	27.1
3	どちらかといえば反対	240	12.0	18.1	13.2
4	反対	98	4.9	7.8	5.4
5	わからない	140	7.0	7.0	7.7
	不明	171	8.6	4.7	
	N(%ベース)	1996	100	1711	1825



結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよいでは、賛成42.7%(前回40.6%)、どちらかといえば賛成24.8%(21.9%)、どちらかといえば反対12.0%(18.1%)、反対4.9%(7.8%)、わからない7.0%(7.0%)、不明(無記入)8.6%(4.7%)と、賛成・どちらかといえば賛成をあわせて7割くらいです。前回調査と大きな変化はありませんが、賛成・どちらかといえば賛成が少し増え、どちらかといえば反対、反対が減っています。

性別・年齢別・職業別・小学校で人権教育を受けたかに関連しています。年齢別・小学校で人権教育を受けたか・性別と強い関連があります。

上段:度数		問2-3(2)結婚は個人の自由、どちらでもよい					
下段:%		合計	1賛成	2どちらかとい えば賛成	3どちらかとい えば反対	4反対	5わからない
F2年齢	全体	1798	838	491	235	97	137
		100.0	46.6	27.3	13.1	5.4	7.6
	18～19	16	6	6	1	1	2
		100.0	37.5	37.5	6.3	6.3	12.5
	20～29	106	65	28	3	3	7
		100.0	61.3	26.4	2.8	2.8	6.6
	30～39	212	142	49	10	4	7
		100.0	67.0	23.1	4.7	1.9	3.3
	40～49	267	143	78	20	9	17
		100.0	53.6	29.2	7.5	3.4	6.4
50～59	326	172	86	38	12	18	
	100.0	52.8	26.4	11.7	3.7	5.5	
60～69	387	161	108	62	22	34	
	100.0	41.6	27.9	16.0	5.7	8.8	
70～79	328	112	84	64	34	34	
	100.0	34.1	25.6	19.5	10.4	10.4	
80以上	156	37	52	37	12	18	
	100.0	23.7	33.3	23.7	7.7	11.5	

30歳代をピークに賛成が多くなっています。18～19歳でどちらかといえば賛成が多く、40歳以上からどちらかといえば反対が多くなります。年齢とともに差異がはっきり出ています。

上段:度数		問2-3(2)結婚は個人の自由、どちらでもよい					
下段:%		合計	1賛成	2どちらかとい えば賛成	3どちらかとい えば反対	4反対	5わからない
問8-1小学校で人権教育を受けたか	全体	1697	806	457	217	91	126
		100.0	47.5	26.9	12.8	5.4	7.4
	1.かなり学んだ	137	85	35	8	5	4
		100.0	62.0	25.5	5.8	3.6	2.9
	2.少し学んだ	878	467	233	87	37	54
		100.0	53.2	26.5	9.9	4.2	6.2
	3.全く学んでいない	650	243	181	119	47	60
		100.0	37.4	27.8	18.3	7.2	9.2
4.行っていない	32	11	8	3	2	8	
	100.0	34.4	25.0	9.4	6.3	25.0	

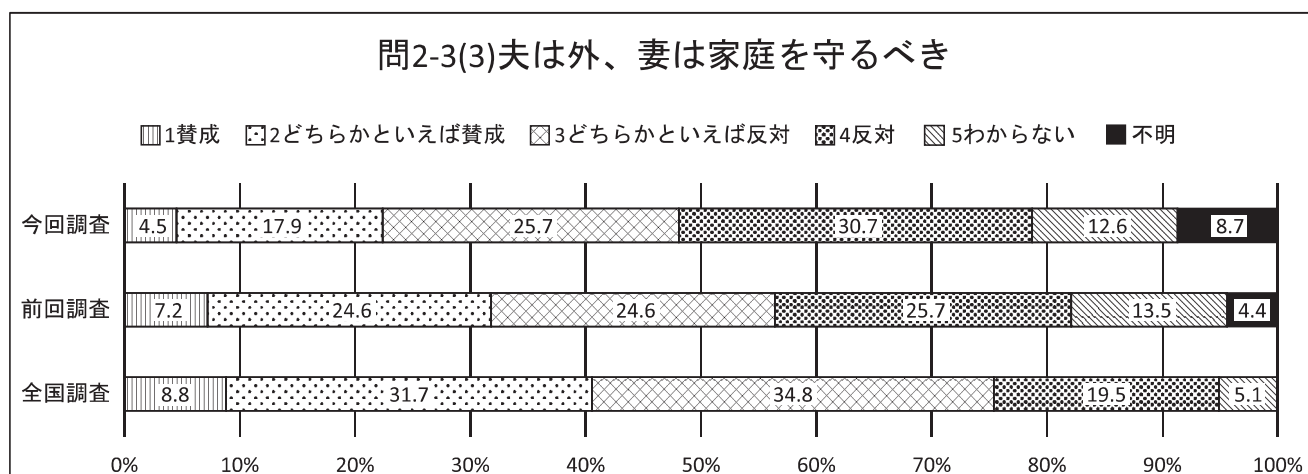
小学校で人権教育をかなり受けた人ほど賛成が多くなっています。学んでいない人ではわからないが多くなっています。

問2-3(2)結婚は個人の自由、どちらでもよい×F1性別							
上段:度数	問2-3(2)結婚は個人の自由、どちらでもよい						
下段:%	合計	1賛成	2どちらかといえば賛成	3どちらかといえば反対	4反対	5わからない	
F1性別	全体	1782	833	488	230	97	134
		100.0	46.7	27.4	12.9	5.4	7.5
	男性	786	316	211	139	53	67
		100.0	40.2	26.8	17.7	6.7	8.5
	女性	996	517	277	91	44	67
		100.0	51.9	27.8	9.1	4.4	6.7

女性で賛成が多く、男性でどちらかといえば反対が多いことがわかります。

(7) 夫は外、妻は家庭？

No.	問2-3(3)夫は外、妻は家庭を守るべき カテゴリ	(SA) 件数	(全体)%	前回調査	(除不)%	全国調査
1	賛成	89	4.5	7.2	4.9	8.8
2	どちらかといえば賛成	357	17.9	24.6	19.6	31.7
3	どちらかといえば反対	512	25.7	24.6	28.1	34.8
4	反対	613	30.7	25.7	33.6	19.5
5	わからない	252	12.6	13.5	13.8	5.1
	不明	173	8.7	4.4		
	N(%ベース)	1996	100	1711	1823	3059



夫は外で働き、妻は家庭を守るべきであるでは、賛成4.5%(前回7.2%)、どちらかといえば賛成17.9%(24.6%)、どちらかといえば反対25.7%(24.6%)、反対30.7%(25.7%)、わからない12.6%(13.5%)、不明(無記入)8.7%(4.4%)となっています。

前回調査と比べ、賛成・どちらかといえば賛成が減り、反対・どちらかといえば反対が増えています。

不明(無記入)を除いて全国調査(内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」平成28年)と比較すると、賛成4.9%(全国8.8%)、どちらかといえば賛成19.6%(31.7%)、どちらかといえば反対28.1%(34.8%)、反対33.6%(19.5%)、わからない13.8%(5.1%)と賛成・どちらかといえば賛成が少なく反対が多いです。

性別・年齢別・職業別と関連しています。年齢と性別で強い関連があります。

		問2-3(3) 夫は外、妻は家庭を守るべき×F2年齢					
上段:度数		問2-3(3) 夫は外、妻は家庭を守るべき					
下段:%		合計	1賛成	2どちらかとい えば賛成	3どちらかとい えば反対	4反対	5わからない
F2年齢	全体	1796	88	352	504	605	247
		100.0	4.9	19.6	28.1	33.7	13.8
	18～19	16	—	1	6	6	3
		100.0	—	6.3	37.5	37.5	18.8
	20～29	106	1	8	23	56	18
		100.0	0.9	7.5	21.7	52.8	17.0
	30～39	212	5	36	65	79	27
		100.0	2.4	17.0	30.7	37.3	12.7
	40～49	266	8	37	80	95	46
		100.0	3.0	13.9	30.1	35.7	17.3
	50～59	325	2	47	107	124	45
		100.0	0.6	14.5	32.9	38.2	13.8
	60～69	382	25	78	110	129	40
		100.0	6.5	20.4	28.8	33.8	10.5
	70～79	332	32	99	71	85	45
		100.0	9.6	29.8	21.4	25.6	13.6
	80以上	157	15	46	42	31	23
		100.0	9.6	29.3	26.8	19.7	14.6

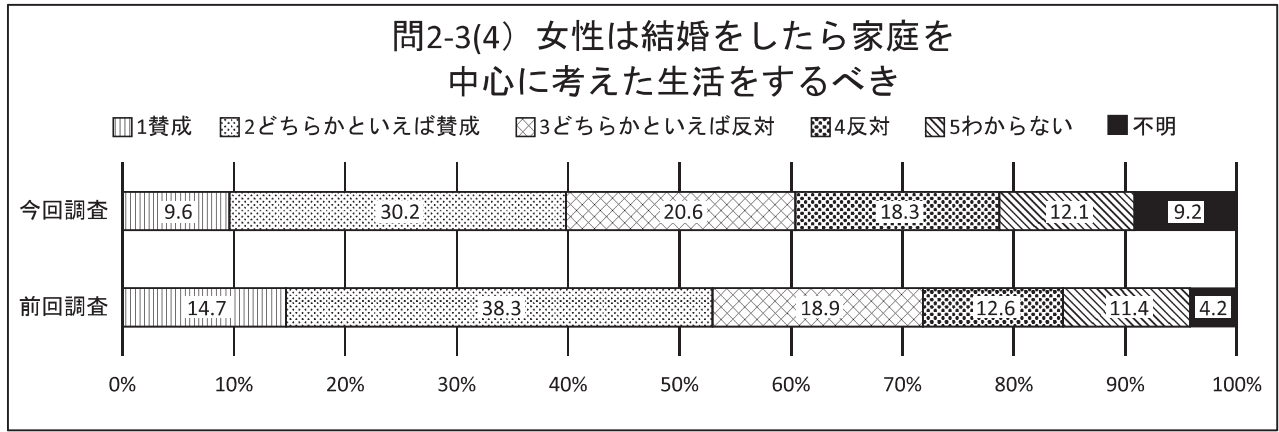
20歳代で反対が多く、どちらかといえば賛成が少なくなっています。50歳代でどちらかといえば反対が多く、賛成・どちらかといえば賛成が少なくなっています。70歳代と80歳以上で賛成・どちらかといえば賛成が多く、反対が少なくなっています。

		問2-3(3) 夫は外、妻は家庭を守るべき×F1性別					
上段:度数		問2-3(3) 夫は外、妻は家庭を守るべき					
下段:%		合計	1賛成	2どちらかとい えば賛 成	3どちらかとい えば反 対	4反対	5わからない
F1性別	全体	1779	87	349	502	598	243
		100.0	4.9	19.6	28.2	33.6	13.7
	男性	786	36	189	235	210	116
		100.0	4.6	24.0	29.9	26.7	14.8
	女性	993	51	160	267	388	127
		100.0	5.1	16.1	26.9	39.1	12.8

女性で反対が多く、男性でどちらかといえば賛成が多いことがわかります。

(8) 女性は結婚したら家庭中心？

		問2-3(4) 女性は結婚したら家庭を中心に考えた生活 をするべき			
		(SA)			
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	前回調査	(除不)%
1	賛成	192	9.6	14.7	10.6
2	どちらかといえば賛成	602	30.2	38.3	33.2
3	どちらかといえば反対	412	20.6	18.9	22.7
4	反対	365	18.3	12.6	20.1
5	わからない	242	12.1	11.4	13.3
	不明	183	9.2	4.2	
	N(%ベース)	1996	100	1711	1813



女性は結婚したら、夫や子どもなど家庭を中心に考えて生活したほうがよいについて、賛成9.6%(前回14.7%)、どちらかといえば賛成30.2%(38.3%)、どちらかといえば反対20.6%(18.9%)、反対18.3%(12.6%)、わからない12.1%(11.4%)、不明(無記入)9.2%(4.2%)となっています。

前回より賛成・どちらかといえば賛成が減って、どちらかといえば反対・反対が増えています。

性別、年齢別、職業別、高校で人権教育を受けたか、人権に関する講演会・研修・学習会に参加したかに関連していません。年齢別、職業別と強い関連を示しています。

問2-3(4) 女性は結婚したら家庭を中心に考えた生活をするべき × F2年齢							
上段:度数		問2-3(4) 女性は結婚したら家庭を中心に考えた生活をするべき					
下段:%		合計	1賛成	2どちらかとい えば賛成	3どちらかとい えば反対	4反対	5わからない
F2年齢	全体	1786	189	593	406	359	239
		100.0	10.6	33.2	22.7	20.1	13.4
	18~19	16	1	3	4	5	3
		100.0	6.3	18.8	25.0	31.3	18.8
	20~29	106	4	25	26	32	19
		100.0	3.8	23.6	24.5	30.2	17.9
	30~39	211	14	49	56	62	30
		100.0	6.6	23.2	26.5	29.4	14.2
	40~49	265	11	86	67	60	41
		100.0	4.2	32.5	25.3	22.6	15.5
50~59	325	21	99	89	77	39	
	100.0	6.5	30.5	27.4	23.7	12.0	
60~69	383	46	144	80	68	45	
	100.0	12.0	37.6	20.9	17.8	11.7	
70~79	327	60	127	52	44	44	
	100.0	18.3	38.8	15.9	13.5	13.5	
80以上	153	32	60	32	11	18	
	100.0	20.9	39.2	20.9	7.2	11.8	

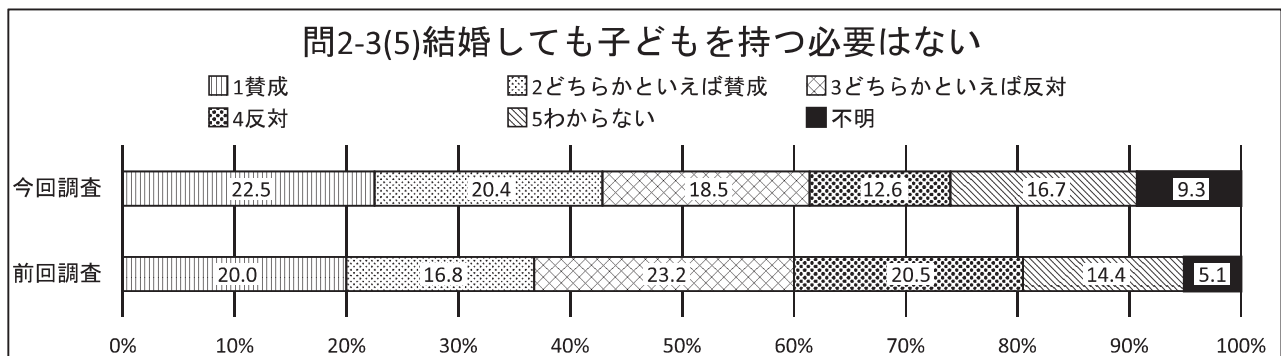
年齢とともに賛成が多く、反対が少なくなっています。

問2-3(4) 女性は結婚したら家庭を中心に考えた生活をするべき×F3職業							
上段:度数		問2-3(4) 女性は結婚したら家庭を中心に考えた生活をするべき					
下段:%		合計	1賛成	2どちらかといえば賛成	3どちらかといえば反対	4反対	5わからない
F3職業	全体	1787	191	595	408	355	238
		100.0	10.7	33.3	22.8	19.9	13.3
	1.自営業	214	30	75	48	36	25
		100.0	14.0	35.0	22.4	16.8	11.7
	2.企業・正社員	440	27	125	107	118	63
		100.0	6.1	28.4	24.3	26.8	14.3
	3.契約・派遣社員	56	5	20	15	12	4
		100.0	8.9	35.7	26.8	21.4	7.1
	4.公務員	68	1	20	19	16	12
		100.0	1.5	29.4	27.9	23.5	17.6
	5.教職員	37	1	8	9	15	4
		100.0	2.7	21.6	24.3	40.5	10.8
	6.臨時・パート・アルバイト	267	21	99	62	53	32
		100.0	7.9	37.1	23.2	19.9	12.0
	7.家事専業	339	57	128	64	58	32
		100.0	16.8	37.8	18.9	17.1	9.4
	8.無職	245	33	84	52	28	48
		100.0	13.5	34.3	21.2	11.4	19.6
	9.学生	26	-	8	5	7	6
		100.0	-	30.8	19.2	26.9	23.1
10.その他	95	16	28	27	12	12	
	100.0	16.8	29.5	28.4	12.6	12.6	

企業の正社員で反対が多く、賛成・どちらかといえば賛成が少なくなっています。公務員で賛成が少なくなっています。教職員で反対が多くなっています。家事専業・その他で賛成が多くなっています。

(9)結婚しても子どもを持つ必要はない？

No.	問2-3(5) 結婚しても子どもを持つ必要はない カテゴリ	(SA) 件数	(全体)%	前回調査	(除不)%
1	賛成	449	22.5	20.0	24.8
2	どちらかといえば賛成	407	20.4	16.8	22.5
3	どちらかといえば反対	370	18.5	23.2	20.4
4	反対	251	12.6	20.5	13.9
5	わからない	334	16.7	14.4	18.4
	不明	185	9.3	5.1	
	N(%ベース)	1996	100	1711	1811



結婚しても必ずしも子どもを持つ必要はないでは、賛成22.5%(前回20.0%)、どちらかといえば賛成20.4%(16.8%)、どちらかといえば反対18.5%(23.2%)、反対12.6%(20.5%)、わからない16.7%(14.4%)、不明(無記入)9.3%(5.1%)となっています。前回と比べ、賛成・どちらかといえば賛成がやや増え、どちらかといえば反対・反対がやや減っています。

性別、年齢別、職業別、小学校で人権教育を受けたか、人権に関する講演会・研修・学習会に参加したかに関連しています。年齢別、小学校で人権教育を受けたか、性別、職業別と強い関連を示しています。

問2-3(5)結婚しても子どもを持つ必要はない×F2年齢							
上段:度数		問2-3(5)結婚しても子どもを持つ必要はない					
下段:%		合計	1賛成	2どちらかといえば賛成	3どちらかといえば反対	4反対	5わからない
F2年齢	全体	1785	445	400	367	244	329
		100.0	24.9	22.4	20.6	13.7	18.4
	18~19	16	4	5	2	1	4
		100.0	25.0	31.3	12.5	6.3	25.0
	20~29	106	50	22	15	8	11
		100.0	47.2	20.8	14.2	7.5	10.4
	30~39	211	90	59	22	10	30
		100.0	42.7	28.0	10.4	4.7	14.2
	40~49	264	84	69	43	20	48
		100.0	31.8	26.1	16.3	7.6	18.2
	50~59	325	82	85	53	41	64
		100.0	25.2	26.2	16.3	12.6	19.7
	60~69	385	74	74	104	56	77
		100.0	19.2	19.2	27.0	14.5	20.0
	70~79	327	44	59	82	74	68
		100.0	13.5	18.0	25.1	22.6	20.8
	80以上	151	17	27	46	34	27
		100.0	11.3	17.9	30.5	22.5	17.9

20歳代・30歳代で賛成が多く、70歳代・80歳以上で賛成が少なくなっています。70歳代・80歳以上で反対が多く、20歳から49歳で反対は少なくなっています。60歳代・70歳代でどちらかといえば反対が多くなっています。

問2-3(5)結婚しても子どもを持つ必要はない×問8-1小学校で人権教育を受けたか							
上段:度数		問2-3(5)結婚しても子どもを持つ必要はない					
下段:%		合計	1賛成	2どちらかといえば賛成	3どちらかといえば反対	4反対	5わからない
問8-1小学校で人権教育を受けたか	全体	1689	426	387	347	220	309
		100.0	25.2	22.9	20.5	13.0	18.3
	1.かなり学んだ	137	47	36	17	14	23
		100.0	34.3	26.3	12.4	10.2	16.8
	2.少し学んだ	868	266	219	144	94	145
		100.0	30.6	25.2	16.6	10.8	16.7
	3.全く学んでいない	652	108	129	181	109	125
		100.0	16.6	19.8	27.8	16.7	19.2
	4.行っていない	32	5	3	5	3	16
		100.0	15.6	9.4	15.6	9.4	50.0

小学校で人権教育をかなり学んだ人で反対が多く、全く学んでいない人で賛成・どちらかといえば賛成が多くなっています。

問2-3(5)結婚しても子どもを持つ必要はない×F1性別							
上段:度数		問2-3(5)結婚しても子どもを持つ必要はない					
下段:%		合計	1賛成	2どちらかといえば賛成	3どちらかといえば反対	4反対	5わからない
F1性別	全体	1769	442	393	363	244	327
		100.0	25.0	22.2	20.5	13.8	18.5
	男性	782	149	167	190	145	131
		100.0	19.1	21.4	24.3	18.5	16.8
	女性	987	293	226	173	99	196
		100.0	29.7	22.9	17.5	10.0	19.9

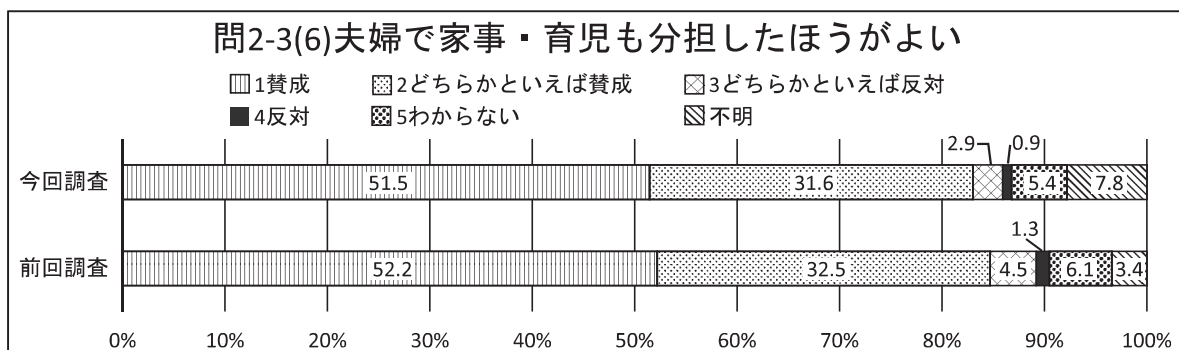
女性で賛成が多く、男性でどちらかといえば反対が多くなっています。

問2-3(5)結婚しても子どもを持つ必要はない×F3職業							
上段:度数	問2-3(5)結婚しても子どもを持つ必要はない						
下段:%	合計	1賛成	2どちらかとい えば賛成	3どちらかといえ ば反対	4反対	5わからない	
F3 職業	全体	1785	445	401	366	244	329
		100.0	24.9	22.5	20.5	13.7	18.4
	1.自営業	213	45	44	47	40	37
		100.0	21.1	20.7	22.1	18.8	17.4
	2.企業・正社員	437	137	105	85	39	71
		100.0	31.4	24.0	19.5	8.9	16.2
	3.契約・派遣社 員	55	13	12	7	8	15
		100.0	23.6	21.8	12.7	14.5	27.3
	4.公務員	69	14	19	18	8	10
		100.0	20.3	27.5	26.1	11.6	14.5
	5.教職員	38	15	7	5	5	6
		100.0	39.5	18.4	13.2	13.2	15.8
	6.臨時・パート・ アルバイト	265	85	69	47	23	41
		100.0	32.1	26.0	17.7	8.7	15.5
	7.家事専業	340	83	73	68	52	64
		100.0	24.4	21.5	20.0	15.3	18.8
	8.無職	245	30	43	68	42	62
		100.0	12.2	17.6	27.8	17.1	25.3
	9.学生	26	10	8	3	1	4
		100.0	38.5	30.8	11.5	3.8	15.4
10.その他	97	13	21	18	26	19	
	100.0	13.4	21.6	18.6	26.8	19.6	

企業の正社員で賛成が多く、反対・どちらかといえば反対が少なくなっています。公務員で反対が少なくなっています。教職員で賛成が多くなっています。家事専業で賛成が多く、反対が少なくなっています。無職でわからないが多く、賛成が少なくなっています。

(10)家事も育児も夫婦で分担したほうがよいか

問2-3(6)夫婦で家事・育児も分担したほうがよい		(SA)			
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	前回調査	(除不)%
1	賛成	1028	51.5	52.2	55.8
2	どちらかといえば賛成	630	31.6	32.5	34.2
3	どちらかといえば反対	58	2.9	4.5	3.2
4	反対	17	0.9	1.3	0.9
5	わからない	108	5.4	6.1	5.9
	不明	155	7.8	3.4	
	N(%ベース)	1996	100	1711	1841



家事や育児についても、夫婦で分担した方がよいについて、賛成51.5%(前回52.2%)、どちらかといえば賛成31.6%(32.5%)、どちらかといえば反対2.9%(4.5%)、反対0.9%(1.3%)、わからない5.4%(6.1%)、不明(無記入)7.8%(3.4%)と、賛成・どちらかといえば賛成をあわせて8割以上となっています。前回とくらべ賛成・どちらかといえば賛成が少し減っていますが、不明(無記入)を除けば、ほとんど変化がないとみた方が良さそうです。

性別、年齢別、職業別、広報紙の人権関連記事を読んだかと関連しています。年齢別、職業別、性別と強い関連を示しています。

上段:度数		問 2-3(6)夫婦で家事・育児も分担したほうがよい×F2 年齢					
下段:%		問 2-3(6)夫婦で家事・育児も分担したほうがよい					
		合計	1 賛成	2 どちらかといえば賛成	3 どちらかといえば反対	4 反対	5 わからない
F2 年齢	全体	1814	1011	624	58	17	104
		100.0	55.7	34.4	3.2	0.9	5.7
	18～19	16	11	4	-	-	1
		100.0	68.8	25.0	-	-	6.3
	20～29	106	79	20	1	1	5
		100.0	74.5	18.9	0.9	0.9	4.7
	30～39	211	142	55	4	1	9
		100.0	67.3	26.1	1.9	0.5	4.3
	40～49	266	171	80	4	-	11
		100.0	64.3	30.1	1.5	-	4.1
	50～59	325	200	104	4	3	14
		100.0	61.5	32.0	1.2	0.9	4.3
60～69	389	191	154	16	4	24	
	100.0	49.1	39.6	4.1	1.0	6.2	
70～79	337	139	142	22	5	29	
	100.0	41.2	42.1	6.5	1.5	8.6	
80 以上	164	78	65	7	3	11	
	100.0	47.6	39.6	4.3	1.8	6.7	

20歳代をピークに若い人ほど賛成が多くなっています。どちらかといえば賛成は60歳代・70歳代で多く、どちらかといえば反対は70歳代で多くなっています。

上段:度数		問2-3(6)夫婦で家事・育児も分担したほうがよい×F3職業					
下段:%		問2-3(6)夫婦で家事・育児も分担したほうがよい					
		合計	1 賛成	2 どちらかといえば賛成	3 どちらかといえば反対	4 反対	5 わからない
F3職業	全体	1815	1014	623	58	17	103
		100.0	55.9	34.3	3.2	0.9	5.7
	1.自営業	213	99	84	12	4	14
		100.0	46.5	39.4	5.6	1.9	6.6
	2.企業・正社員	440	275	137	9	1	18
		100.0	62.5	31.1	2.0	0.2	4.1
	3.契約・派遣社員	55	33	19	-	-	3
		100.0	60.0	34.5	-	-	5.5
	4.公務員	69	41	27	-	-	1
		100.0	59.4	39.1	-	-	1.4
	5.教職員	38	29	8	-	-	1
		100.0	76.3	21.1	-	-	2.6
	6.臨時・パート・アルバイト	269	169	79	7	-	14
		100.0	62.8	29.4	2.6	-	5.2
7.家事専業	351	202	118	9	4	18	
	100.0	57.5	33.6	2.6	1.1	5.1	
8.無職	253	102	107	12	6	26	
	100.0	40.3	42.3	4.7	2.4	10.3	
9.学生	26	17	7	-	-	2	
	100.0	65.4	26.9	-	-	7.7	
10.その他	101	47	37	9	2	6	
	100.0	46.5	36.6	8.9	2.0	5.9	

自営業でどちらかといえば反対が多く、企業の正社員、教職員、臨時・パート・アルバイトで賛成が多くなっています。

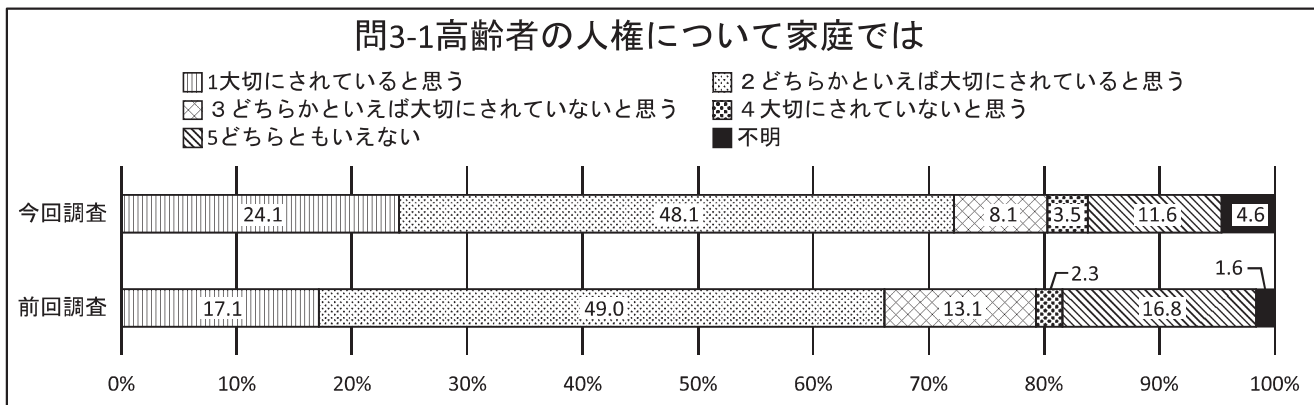
問2-3(6)夫婦で家事・育児も分担したほうがよい×F1性別							
上段:度数		問2-3(6)夫婦で家事・育児も分担したほうがよい					
下段:%		合計	1賛成	2どちらかといえば賛成	3どちらかといえば反対	4反対	5わからない
F1性別	全体	1797	1000	620	57	16	104
		100.0	55.6	34.5	3.2	0.9	5.8
	男性	789	376	325	33	6	49
		100.0	47.7	41.2	4.2	0.8	6.2
	女性	1008	624	295	24	10	55
		100.0	61.9	29.3	2.4	1.0	5.5

女性で賛成が多く、男性でどちらかといえば賛成・どちらかといえば反対が多くなっています。

5、高齢者の人権

(1)高齢者の人権 家庭では

No.	問3-1高齢者の人権について家庭では カテゴリ	(SA) 件数	(全体)%	前回調査	(除不)%
1	大切にされていると思う	482	24.1	17.1	25.3
2	どちらかといえば大切にされていると思う	961	48.1	49.0	50.4
3	どちらかといえば大切にされていないと思う	161	8.1	13.1	8.5
4	大切にされていないと思う	69	3.5	2.3	3.6
5	どちらともいえない	232	11.6	16.8	12.2
	不明	91	4.6	1.6	
	N(%ベース)	1996	100	1711	1905



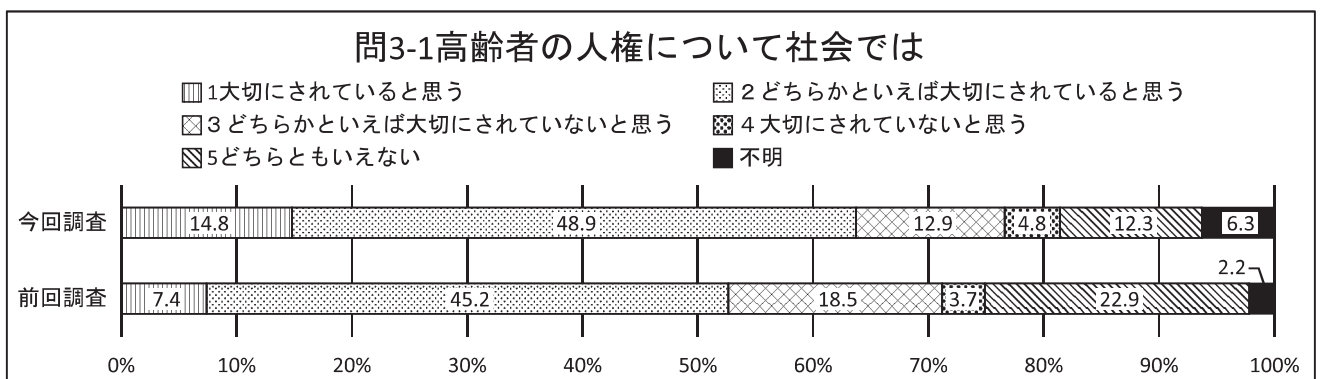
今の日本の高齢者の状況について、家庭の中では、大切にされていると思う24.1%(前回尊敬されていると思う17.1%)、どちらかといえば大切にされていると思う48.1%(まあ尊敬されていると思う49.0%)、どちらかといえば大切にされていないと思う8.1%(どちらかといえば、除け者にされていると思う13.1%)、大切にされていないと思う3.5%(除け者にされていると思う2.3%)、どちらともいえない11.6%(16.8%)、不明(無記入)4.6%(1.6%)となっています。大切にされている・どちらかといえば大切にされていると思う、あわせて7割以上になります。前回と比較すると大切にされているが増えています。職業別とのみ有意な関連があります。

		問3-1高齢者の人権について家庭では×F3職業					
上段:度数		問3-1高齢者の人権について家庭では					
下段:%		合計	大切にされている と思う	どちらかとい えば大切にさ れていると思 う	どちらかとい えば大切にさ れていないと思 う	大切にされてい ないと思う	どちらともいえ ない
F3職業	全体	1875	474	946	161	67	227
		100.0	25.3	50.5	8.6	3.6	12.1
	1.自営業	233	64	120	17	6	26
		100.0	27.5	51.5	7.3	2.6	11.2
	2.企業・正社員	440	105	221	43	14	57
		100.0	23.9	50.2	9.8	3.2	13.0
	3.契約・派遣社員	57	11	28	8	-	10
		100.0	19.3	49.1	14.0	-	17.5
	4.公務員	68	16	36	6	4	6
		100.0	23.5	52.9	8.8	5.9	8.8
	5.教職員	37	8	23	2	-	4
		100.0	21.6	62.2	5.4	-	10.8
	6.臨時・パート・アルバイト	272	58	142	30	9	33
		100.0	21.3	52.2	11.0	3.3	12.1
7.家事専業	362	91	175	31	20	45	
	100.0	25.1	48.3	8.6	5.5	12.4	
8.無職	267	73	138	18	9	29	
	100.0	27.3	51.7	6.7	3.4	10.9	
9.学生	26	14	11	-	-	1	
	100.0	53.8	42.3	-	-	3.8	
10.その他	113	34	52	6	5	16	
	100.0	30.1	46.0	5.3	4.4	14.2	

家事専業で大切にされていないが多く、学生で大切にされているが多くなっています。

(2) 高齢者の人権 社会では

No.	問3-1高齢者の人権について社会では カテゴリ	(SA) 件数	(全体)%	前回調査	(除不)%
1	大切にされていると思う	296	14.8	7.4	15.8
2	どちらかといえば大切にされていると思う	977	48.9	45.2	52.2
3	どちらかといえば大切にされていないと思う	257	12.9	18.5	13.7
4	大切にされていないと思う	96	4.8	3.7	5.1
5	どちらともいえない	245	12.3	22.9	13.1
	不明	125	6.3	2.2	
	N(%ベース)	1996	100	1711	1871



社会では、大切にされていると思う14.8%(前回尊敬されていると思う7.4%)、どちらかといえば大切にされていると思う48.9%(まあ尊敬されていると思う45.2%)、どちらかといえば大切にされていないと思う12.9%(どちらかといえば除け者にされていると思う18.5%)、大切にされていないと思う4.8%(除け者にされていると思う3.7%)、どちらともいえない12.3%(22.9%)、不明(無記入)6.3%(2.2%)となっています。大切にされていると思う・どちらかといえば大切にされていると思う、あわせて7割を超えています。前回と比較すると、大切にされていると思う(前回尊敬されていると思う)、どちらかといえば大切にされていると思う(前回まあ尊敬されていると思う)が増えています。

性別、職業別、人権課題の講演会・研修・学習会に参加したかに関連しています。職業別、人権課題の講演会・研修・学習会に参加したかと強い関連があります。

上段:度数		問3-1高齢者の人権について社会では					
下段:%		合計	大切にされていると思う	どちらかといえば大切にされていると思う	どちらかといえば大切にされていないと思う	大切にされていないと思う	どちらともいえない
F3職業	全体	1842	289	965	253	96	239
		100.0	15.7	52.4	13.7	5.2	13.0
	1.自営業	222	48	116	26	10	22
		100.0	21.6	52.3	11.7	4.5	9.9
	2.企業・正社員	438	80	220	66	28	44
		100.0	18.3	50.2	15.1	6.4	10.0
	3.契約・派遣社員	57	6	25	16	1	9
		100.0	10.5	43.9	28.1	1.8	15.8
	4.公務員	68	12	36	11	2	7
		100.0	17.6	52.9	16.2	2.9	10.3
	5.教職員	37	5	18	8	1	5
		100.0	13.5	48.6	21.6	2.7	13.5
	6.臨時・パート・アルバイト	270	33	149	37	17	34
	100.0	12.2	55.2	13.7	6.3	12.6	
7.家事専業	354	57	188	41	14	54	
	100.0	16.1	53.1	11.6	4.0	15.3	
8.無職	262	28	139	36	18	41	
	100.0	10.7	53.1	13.7	6.9	15.6	
9.学生	26	6	16	3	-	1	
	100.0	23.1	61.5	11.5	-	3.8	
10.その他	108	14	58	9	5	22	
	100.0	13.0	53.7	8.3	4.6	20.4	

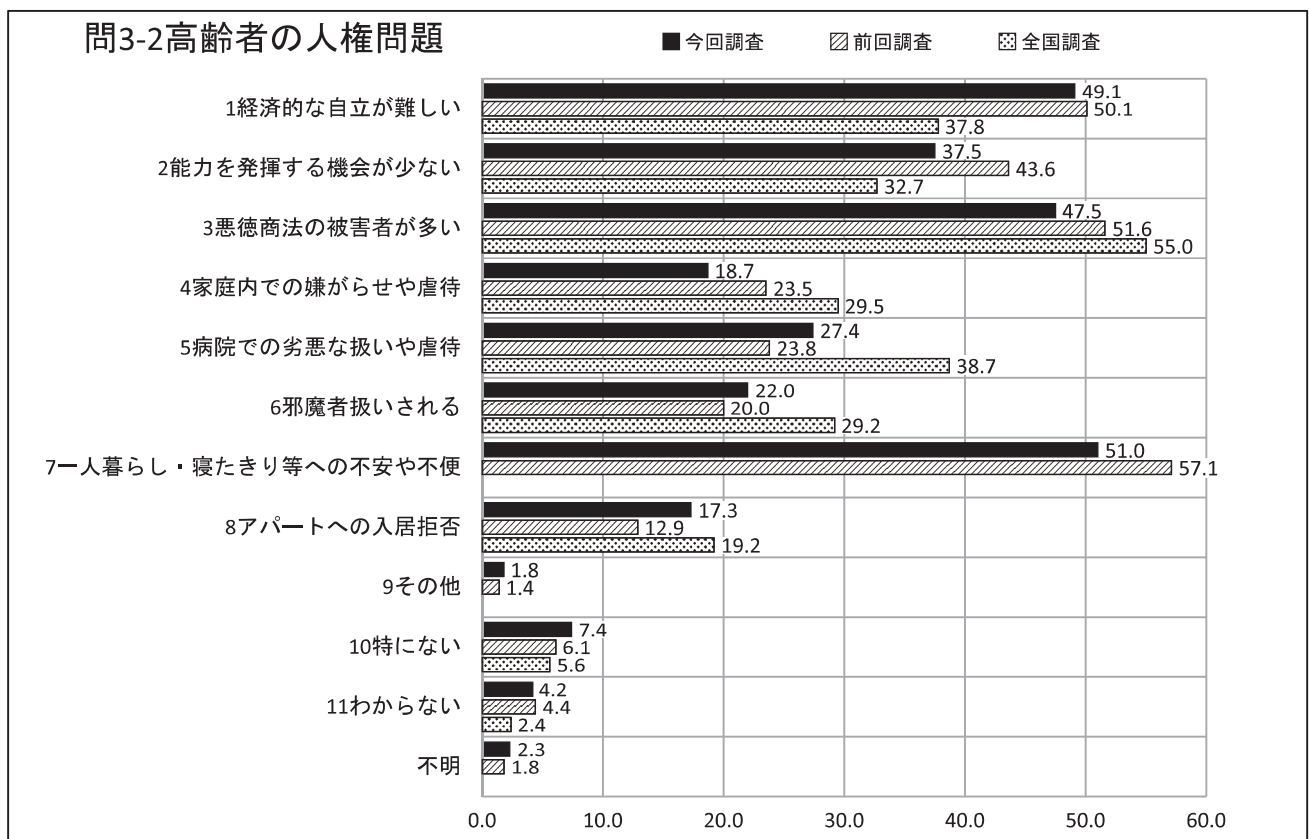
自営業で大切にされている21.6%(全体15.7%)が多く、契約・派遣社員でどちらかといえば大切にされていない28.1%(13.7%)が多くなっています。無職で大切にされている10.7%(全体15.7%)が少なくなっています。

上段:度数		問3-1高齢者の人権について社会では					
下段:%		合計	大切にされていると思う	どちらかといえば大切にされていると思う	どちらかといえば大切にされていないと思う	大切にされていないと思う	どちらともいえない
問8-4人権各課題についての講演会・研修・学習会に何回参加したか	全体	1834	288	957	256	94	239
		100.0	15.7	52.2	14.0	5.1	13.0
	1回もない	876	134	442	121	46	133
		100.0	15.3	50.5	13.8	5.3	15.2
	1~2	455	76	242	53	27	57
		100.0	16.7	53.2	11.6	5.9	12.5
	3~4	198	29	115	34	7	13
		100.0	14.6	58.1	17.2	3.5	6.6
	5~6	98	15	54	12	5	12
		100.0	15.3	55.1	12.2	5.1	12.2
	7~9	29	2	13	8	1	5
		100.0	6.9	44.8	27.6	3.4	17.2
	10回以上	178	32	91	28	8	19
	100.0	18.0	51.1	15.7	4.5	10.7	

人権課題の講演会・研修・学習会に7~9回参加した人でどちらかといえば大切にされていないが多く、参加したことがない人でどちらともいえないが多くなっています。

(3)高齢者の人権問題

No.	問3-2高齢者の人権問題 カテゴリ	(MA) 件数	(全体)%	前回調査	(除不)%	全国調査
1	経済的な自立が難しい	980	49.1	50.1	50.2	37.8
2	能力を発揮する機会が少ない	748	37.5	43.6	38.3	32.7
3	悪徳商法の被害者が多い	948	47.5	51.6	48.6	55.0
4	家庭内での嫌がらせや虐待	374	18.7	23.5	19.2	29.5
5	病院での劣悪な扱いや虐待	547	27.4	23.8	28.0	38.7
6	邪魔者扱いされる	439	22.0	20.0	22.5	29.2
7	一人暮らし・寝たきり等への不安や不便	1017	51.0	57.1	52.1	
8	アパートへの入居拒否	345	17.3	12.9	17.7	19.2
9	その他	35	1.8	1.4	1.8	
10	特にない	148	7.4	6.1	7.6	5.6
11	わからない	84	4.2	4.4	4.3	2.4
	不明	45	2.3	1.8		
	N(%ベース)	1996	100	1711	1951	1758



高齢者に関することで、現在、どのような人権問題があると思いますか、次の中からいくつかも選んでくださいという質問について、一人暮らし、閉じこもり、寝たきり等への不安やそれらによる不便があること51.0%(前回57.1%)、経済的な自立が難しいこと49.1%(50.1%)、悪徳商法の被害者が多いこと47.5%(51.6%)、働ける能力を発揮する機会が少ないこと37.5%(43.6%)、病院での劣悪な扱いや虐待27.4%(前回医療機関や社会福祉施設において、劣悪な扱いや虐待を受けること23.8%)、邪魔者扱いにされ、つまはじきにされること22.0%(20.0%)、家庭内での嫌がらせや虐待18.7%(前回家庭内での看護や介護において、劣悪な扱いや虐待を受けること23.5%)、アパートなどへの入居を拒否されること17.3%(12.9%)、その他1.8%(1.4%)、特にない7.4%(6.1%)、わからない4.2%(4.4%)、不明(無記入)2.3%(1.8%)となっています。不明を除くとひとり暮らしや寝たきりへの不安、経済的自立などが半数を超えています。前回と比較すると、悪徳商法の被害者が多いことが少なくなっています。

全国調査と比べると、経済的な自立が難しいこと、能力を発揮できる機会が少ないが多くなっており、病院での劣悪な扱いや虐待、家庭内での嫌がらせや虐待が少なくなっています。

問3-2高齢者の人権問題×F1性別+F2年齢+F3職業													
%	問3-2高齢者の人権問題												
	合計	1経済的な自立が難しい	2能力を發揮する機会が少ない	3悪徳商法の被害者が多い	4家庭内での嫌がらせや虐待	5病院での劣悪な扱いや虐待	6邪魔者扱いされる	7一人暮らし・寝たきり等への不安や不便	8アパートへの入居拒否	9その他	10特にない	11わからない	
F1性別	全体	1951	50.2	38.3	48.6	19.2	28.0	22.5	52.1	17.7	1.8	7.6	4.3
	男性	834	46.0	39.7	47.7	16.5	24.2	20.0	47.8	12.9	1.2	9.1	4.7
	女性	1065	53.8	37.5	49.2	21.3	31.5	25.1	55.1	21.7	2.1	5.8	3.9
F2年齢	全体	1951	50.2	38.3	48.6	19.2	28.0	22.5	52.1	17.7	1.8	7.6	4.3
	18～19	16	50.0	37.5	68.8	18.8	25.0	25.0	81.3	6.3	-	-	6.3
	20～29	106	45.3	39.6	50.9	22.6	30.2	34.9	58.5	15.1	2.8	1.9	7.5
	30～39	211	43.1	45.5	46.4	22.3	28.9	29.4	58.3	15.6	1.4	3.3	4.7
	40～49	267	46.8	39.3	52.1	24.0	35.2	23.2	59.2	19.5	1.1	3.0	7.1
	50～59	325	55.7	45.5	46.2	22.5	29.5	27.1	58.8	20.0	1.8	4.6	3.7
	60～69	407	56.8	43.5	45.9	18.9	32.9	24.8	52.1	23.8	1.0	5.9	2.0
	70～79	365	51.8	33.7	49.9	14.2	21.6	15.9	39.7	13.4	2.7	10.7	3.8
	80以上	224	41.5	19.2	48.7	12.9	17.0	9.8	41.5	12.1	2.2	22.3	4.9
	F3職業	全体	1951	50.2	38.3	48.6	19.2	28.0	22.5	52.1	17.7	1.8	7.6
1.自営業		235	46.0	35.7	47.7	16.6	23.0	17.0	42.6	14.9	3.4	9.8	4.3
2.企業・正社員		441	46.7	41.3	50.1	23.4	28.1	26.8	57.1	15.4	1.1	5.0	4.3
3.契約・派遣社員		57	54.4	54.4	64.9	26.3	35.1	31.6	52.6	28.1	-	3.5	1.8
4.公務員		68	42.6	38.2	47.1	26.5	41.2	29.4	60.3	17.6	-	4.4	2.9
5.教職員		38	44.7	50.0	55.3	18.4	44.7	34.2	71.1	21.1	-	2.6	-
6.6		274	60.9	46.4	42.7	21.2	32.8	27.4	60.6	21.2	1.8	1.5	5.1
7.家事専業		372	56.2	31.7	53.5	18.8	30.1	21.5	52.2	22.3	2.4	8.3	3.0
8.無職		282	46.8	34.8	43.3	14.5	21.3	17.0	44.3	11.3	1.1	14.5	5.3
9.学生		26	42.3	26.9	61.5	15.4	23.1	19.2	69.2	7.7	-	-	11.5
10.その他	123	48.0	35.0	47.2	13.0	22.8	13.0	38.2	21.1	2.4	12.2	5.7	

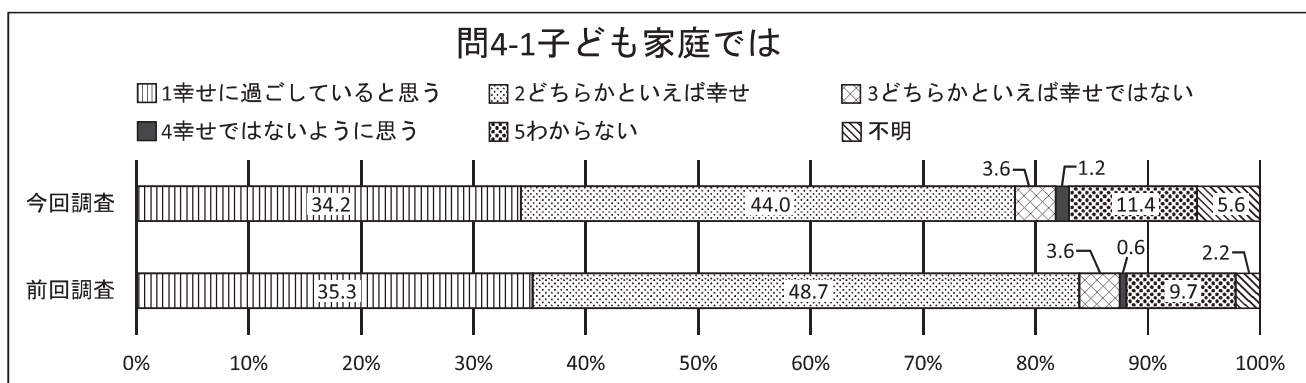
経済的な自立が難しい、家庭内での嫌がらせや虐待、病院での劣悪な扱いや虐待、邪魔者扱いされる、一人暮らし・寝たきり等への不安や不便、アパートへの入居拒否が男性より女性で多くなっています。経済的な自立が難しいは50歳代・60歳代で多く、能力を發揮する機会が少ないは30歳代・50歳代・60歳代で多くなっています。家庭内での嫌がらせや虐待は40歳代で多く、病院での劣悪な扱いや虐待は40歳代と60歳代で多くなっています。邪魔者扱いされるは20歳代・30歳代50歳代で多く、一人暮らし・寝たきり等への不安や不便は18～19歳・30歳代・40歳代・50歳代で多くなっています。アパートへの入居拒否は60歳代で多くなっています。

6、子どもの人権

子どもの様子についてどう感じているか、家庭・学校・地域について聞いています。幸せに過ごしているように思う、どちらかといえば幸せなように思うをあわせると、家庭では78.2%（前回84.0%）、学校では64.2%（65.9%）、地域では67.3%（73.2%）と多い順に家庭・地域・学校となっています。家庭・地域が前回よりやや減っています。

(1)子ども 家庭では

No.	問4-1子ども家庭では カテゴリ	(SA) 件数	(全体)%	前回調査	(除不)%
1	幸せに過ごしていると思う	683	34.2	35.3	36.2
2	どちらかといえば幸せ	879	44.0	48.7	46.6
3	どちらかといえば幸せではない	72	3.6	3.6	3.8
4	幸せではない	23	1.2	0.6	1.2
5	わからない	228	11.4	9.7	12.1
	不明	111	5.6	2.2	
	N(%ベース)	1996	100	100	1885



子どもの様子について、家庭では、幸せに過ごしているように思う34.2%（前回35.3%）、どちらかといえば幸せなように思う44.0%（48.7%）、どちらかといえばあまり幸せではないように思う3.6%（3.6%）、幸せではないように思う1.2%（0.6%）、わからない11.4%（9.7%）、不明（無記入）5.6%（2.2%）です。前回と比べ、どちらかといえば幸せなように思うがやや減っています。

性別、年齢別、職業別、小学校で人権教育を受けたか、広報紙で人権関係の記事を読んだことがあるかと関連があります。広報紙で人権関係の記事を読んだか、年齢別、職業別、小学校で人権教育を受けたかと強い関連があります。

上段:度数		問4-1子ども家庭では					
下段:%		合計	幸せに過ごしていると思う	どちらかといえば幸せ	どちらかといえば幸せではない	幸せではないように思う	5わからない
問8-2広報紙の記事を読んだことがあるか	全体	1826	653	863	70	21	219
		100.0	35.8	47.3	3.8	1.2	12.0
	1.読んだことがある	1221	434	607	49	14	117
		100.0	35.5	49.7	4.0	1.1	9.6
	2.読んだことがない	508	192	214	17	6	79
	100.0	37.8	42.1	3.3	1.2	15.6	
3.広報紙を見たことがない	97	27	42	4	1	23	
	100.0	27.8	43.3	4.1	1.0	23.7	

広報紙の人権関連記事を読んだことがある人では、どちらかといえば幸せが多く、わからないが少なくなっています。読んだことがない人ではどちらかといえば幸せが少なく、広報紙を見たことがない人ではわからないが多くなっています。

問4-1子ども家庭では×F2年齢							
上段:度数		問4-1子ども家庭では					
下段:%		合計	幸せに過ごしている と思う	どちらかといえ ば幸せ	どちらかといえ ば幸せで はない	幸せではないよ うに思う	5わから ない
F2 年齢	全体	1857	667	872	71	22	225
		100.0	35.9	47.0	3.8	1.2	12.1
	18～ 19	16	5	8	-	-	3
		100.0	31.3	50.0	-	-	18.8
	20～ 29	102	28	48	4	2	20
		100.0	27.5	47.1	3.9	2.0	19.6
	30～ 39	211	80	87	10	1	33
		100.0	37.9	41.2	4.7	0.5	15.6
	40～ 49	265	103	119	7	3	33
		100.0	38.9	44.9	2.6	1.1	12.5
	50～ 59	325	92	176	11	3	43
		100.0	28.3	54.2	3.4	0.9	13.2
	60～ 69	397	137	200	13	6	41
		100.0	34.5	50.4	3.3	1.5	10.3
	70～ 79	342	136	154	13	6	33
		100.0	39.8	45.0	3.8	1.8	9.6
	80以上	199	86	80	13	1	19
		100.0	43.2	40.2	6.5	0.5	9.5

50歳代でどちらかといえば幸せが多く、幸せが少なくなっています。80歳以上で幸せだと思うが多く、どちらかといえば幸せが少なくなっています。

問4-1子ども家庭では×F3職業							
上段:度数		問4-1子ども家庭では					
下段:%		合計	幸せに過ごしてい ると思う	どちらかといえ ば幸せ	どちらかといえ ば幸せで はない	幸せではないよ うに思う	5わから ない
F3 職業	全体	1856	670	868	71	23	224
		100.0	36.1	46.8	3.8	1.2	12.1
	1.自営業	228	97	97	10	3	21
		100.0	42.5	42.5	4.4	1.3	9.2
	2.企業・正社員	440	143	214	18	3	62
		100.0	32.5	48.6	4.1	0.7	14.1
	3.契約・派遣社員	56	16	28	1	-	11
		100.0	28.6	50.0	1.8	-	19.6
	4.公務員	67	18	37	2	2	8
		100.0	26.9	55.2	3.0	3.0	11.9
	5.教職員	37	14	18	3	-	2
		100.0	37.8	48.6	8.1	-	5.4
	6.臨時・パート・ア ルバイト	269	91	139	7	2	30
		100.0	33.8	51.7	2.6	0.7	11.2
	7.家事専業	356	148	158	12	8	30
		100.0	41.6	44.4	3.4	2.2	8.4
	8.無職	263	98	117	11	3	34
		100.0	37.3	44.5	4.2	1.1	12.9
9.学生	26	9	12	-	-	5	
	100.0	34.6	46.2	-	-	19.2	
10.その他	114	36	48	7	2	21	
	100.0	31.6	42.1	6.1	1.8	18.4	

自営業と家事専業で幸せに過ごしているが多くなっています。